

J-クレジット制度認証委員会 御中

実績確認概要書

平成 29 年 9 月 27 日

審査機関名 株式会社日本スマートエナジー認証機構

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	ナガセケムテックス播磨事業所におけるボイラー更新事業
承認番号	JCDM-PJ0623
排出削減事業者名	ナガセケムテックス株式会社
排出削減共同実施事業者名	未定
事業実施場所	ナガセケムテックス株式会社 播磨事業所 (兵庫県たつの市龍野町中井 2 3 6)
事業の概要	ナガセケムテックス播磨事業所において、既設の A 重油焚きボイラー3 台を LNG 焚きボイラー6 台に更新することにより二酸化炭素排出量を削減し、燃料を A 重油からより低炭素の LNG に転換することによりさらに二酸化炭素排出量の削減を図る。
排出削減量の計画	2008 年度：434 tCO ₂ /年 2009-2012 年度：1,736 tCO ₂ /年 (事業実施期間合計 7,378 tCO ₂)
Jクレジット・国内クレジット認証期間	開始日 2009 年 1 月 1 日 終了予定日 2021 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新

2. 本実績確認の対象期間

2013 年 4 月 1 日～2016 年 12 月 31 日 (第 4 回目実績報告)

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	7,086tCO ₂ (2013年4月1日～2016年12月31日)
-------	---

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。 1) 承認排出削減事業計画に従い、高効率ボイラーが導入されていることを本実績報告期間におけるエネルギー使用実績やメンテナンス報告書等により確認した。 2) 本実績報告期間において導入設備が稼働していることを、本実績報告期間におけるエネルギー使用実績により確認している。 3) 事業開始日が承認排出削減事業計画通りであることを事業計画との突合及びエネルギー使用実績により確認した。 4) その他、本事業に承認排出削減事業計画から重要な変更がないことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法については、承認済事業計画に従って、燃料供給会社からの請求書によって LNG 使用量の把握がなされていることを確認した。 2) 都市ガス使用量については、報告期間中に亘り、記録責任者の管理の下、請求書が保存されており、本データが正確に集計・算定されていることを、事業者への質問、集計データの突合等により確認した。 3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 排出削減量の算定式及び使用されている排出係数等が方法論及び承認排出削減事業計画に従っており、算定結果が正

	<p>確であることを確認した。</p> <p>4) 事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果をモニタリング結果と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程を確認した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。</p> <p>5) その他</p> <p>その他、排出削減量の算定において重大な変更はなされていないことを確認した。</p>
<p>算定期間が認証対象期限を超えないこと</p>	<p>本事業は国内クレジット制度からの移行手続きを行ったものであり、本事業の移行案件としての認証期限は事業開始日である 2009 年 1 月 1 日から 8 年を経過した日である 2016 年 12 月 31 日までである。本実績報告の対象期間は、2013 年 4 月 1 日～2016 年 12 月 31 日までであり、排出削減量を算定した期間が 2016 年 12 月 31 日を超えないことを確認した。</p>

5. 特記事項

確認した排出削減量（クレジット量）に相当する省エネ量について、原油換算 356.0kl であることを確認した。

以上